

2025.10 – 2026.3

コースフロー / コースカリキュラム

設計・モノづくり (OT)

日立のモノづくりで培ったコアの技術・スキルを厳選して
研修として体系化した領域です。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2025年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトで
ご確認ください。

※オンライン研修または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

電気・計測制御

電気系技術者・技能者の知識や技能の拡大ができます。
若手技術者のための基礎技術や熟練技術者ための
リスキリングで技術が修得できます。

電気・電子共通基礎講座

レベル1

OTV040	オンライン
初心者のための エレクトロニクス入門	
レクチャ	2日間

OTJ038	集合
電気が苦手な人のための 電気回路入門－リレーシーケンスと トラブルシューティングから学ぶ－	
マシン実習	2日間

OTJ039	集合
センサ活用技術の基礎	
レクチャ	2日間

レベル2

OTJ040	集合
実験・実習で学ぶ 電子回路基礎	
マシン実習	4日間

レベル3

オンライン	コースコード OTV040
 初心者のための エレクトロニクス入門【バーチャル・クラスルーム】 2日間	
電気の専門知識を必要とする、非電気系出身者や、基礎を復習したい電気系出身者を対象とした入門講座です。	
到達目標	電気の概要および基礎知識を修得できる。
対象者	電気の専門知識を必要とする非電気系出身者や、基礎を復習したい電気系出身者および新入社員の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 電気と安全 2. 直流 電気の概要、単位の定義と電気の法則 3. 交流 RLCの働き、インピーダンスと周波数特性 4. 三相交流の基礎 5. 過渡応答 6. 半導体、トランジスタ回路の基礎
受講料	¥123,200

集合	コースコード OTJ038
 電気が苦手な人のための電気回路入門ーリレーシーケンスとトラブルシューティングから学ぶー 2日間	
このコースは、電気の基礎・シーケンス制御・リレー回路・テスターの使い方・トラブル診断の基礎を学びます。また、電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につけていきます。	
到達目標	電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につける。
対象者	・電気がどうしても苦手な方。 ・電気を楽しみながら感覚的に理解したい方。 ・新人・若手の技術者・技能者、電気の初学者、初めて電気機器、自動機を扱う方、営業職の方など。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 制御と電気と安全 2. 電気回路の基礎 3. リレー回路の配線 4. リレーシーケンス入門 5. トラブルシューティング基礎 6. 終了課題(故障診断予備実習)
受講料	¥123,200

集合	コースコード OTJ039
 センサ活用技術の基礎 2日間	
センサ内蔵製品、計測、生産システムに適用するセンシング技術を修得したい方にお薦めです。このコースでは、センサ種類と原理を学ぶと共に、光・温度センサを用いた実験を通して構成、動作を学びます。各検出対象に応じた最適なセンシング技術の基礎を修得できます。(※センサネットワークの講習ではありません)	
到達目標	センサは自動化には不可欠であり、その特質を生かした利用法がセンシングの要になります。このコースでは、その基本となるセンサの基礎特性と動作原理について、実験を通じて学びます。
対象者	次のような業務に携わり、センサの基礎を修得しようとする技術者の方。 (1) センサを内蔵する製品の設計・検査 (2) センサを用いた自動生産システムや自動検査装置の開発・設計・検査 (3) センサを用いた計測システムの設計
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. センサの種類と動作原理 2. 歪みセンサ 3. 自動車用センサ 4. センサ動作確認実験 - 光センサと温度センサを用いて - 5. 実験報告書纏め、発表
受講料	¥112,200

集合	コースコード OTJ040
 実験・実習で学ぶ電子回路基礎 4日間	
実践的な電子回路を深めたい若手技術者を対象に、実習を中心に理論と実際の確認、PCによるシミュレーションを行うことにより理解を深めます。また、実験・実習を通して、回路設計に役立つポイントも学べます。	
到達目標	本講座は一人一台の機材を基本に、実験・実習を中心に理論と実際の確認を行うことにより理解を深めます。また、理論と実際の違いについても自ら体験していただきます。製品設計に役立つポイントなどもあわせて指導します。
対象者	一般的な電気電子の基礎知識を有し、実践的な電子回路の理解を深めたい方、または若手回路設計者、生産技術、品質保証の技術者の方。
前提知識	電気の基礎知識があること。
内 容	1. 電気の法則 2. 交流回路 3. 半導体、ダイオード、トランジスタ 4. オペアンプ、コンパレータ 5. 回路シミュレーション： DC解析(温度パラメータ含む)、AC(周波数)解析、過渡解析、FFT解析、動作点解析、ノイズ解析、シミュレーションでの信号源の作り方 6. 実験(一人一機材)
受講料	¥235,400



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



自習テキスト
自習書による独習

機械・設計技法

機械系技術者・技能者の知識や技能の拡大ができます。
若手技術者のための基礎技術や熟練技術者ための
リスキリングで技術が修得できます。

構造強度

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ 1日間		

熱流体

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ 1日間 OTV012 オンライン 伝熱工学+CAE解析+ 機械学習の取り入れた 最適化技術 グループ演習 0.5日間 事前学習(eラーニング) 6時間		

機械力学(振動・騒音)

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ 1日間		

レベル1 : 対応する専門技術を初めて学ばれる方 (目安) 未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 : 業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方 (目安) 関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 : 対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

設計技法（機械）

レベル1

レベル2

レベル3

OTE002 eラーニング

公差設計の基礎

音声有 | 説明文なし | 4 時間

OTE001 eラーニング

幾何公差の基礎

音声有 | 説明文なし | 6 時間

OTV020 オンライン

成熟を打破する
顧客価値の捉え方と
イノベーション構想の描き方

グループ演習 | 1 日間

Renewal

OTV033 オンライン

技術の棚卸と組み合わせによる
ビジネス創生と
生成AI活用のポイント

レクチャ | 1 日間

OTV029 オンライン

世界No.1製品を
実現するための
開発プロジェクト指南

グループ演習 | 1 日間

Renewal

OTV034 オンライン

生成AIと特許情報を活用した
技術マーケティングの
実践メソッド

レクチャ | 1 日間

OTV028 オンライン

ニーズ・シーズ思考でなく
超常識思考で
すごいビジョンを実践

グループ演習 | 1 日間

オンライン	コースコード	OTV008
 機械四力の基礎 【バーチャル・クラスルーム】 1日間		
	機械四力(材料力学、機械力学、流体力学、熱力学)の基礎を学習します。	
到達目標	機械四力(材料力学、機械力学、流体力学、熱力学)の基礎をマスタできる。	
対象者	製品開発の 全技術者、研究/開発/設計/生産/品質管理/調達などの全ての部門の技術者、管理者の方。	
前提知識	工学的な知識があること。	
内 容	1. 機械力学の基礎 2. 流体力学の基礎 3. 熱力学の基礎 4. 材料力学の基礎	
受講料	¥60,500	

オンライン	コースコード	OTV012
 伝熱工学+CAE解析+機械学習を取り入れた最適化技術 【eラーニング(事前学習)+バーチャル・クラスルーム】 0.5日間		
	・このコースは、基礎知識をeラーニング(6時間)にて学習いただき、研修当日(0.5日間)は演習中心に進めます。 ・モノづくり、ハードウェア製品を早期に適正に設計できる、基礎+数値解析+機械学習を紹介します。	
到達目標	基礎+数値解析+機械学習で、ベーシックな事象について、デジタルツイン等を活用できる。	
対象者	モノづくり、ハードウェア製品の設計に従事している中堅技術者の方。	
前提知識	1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。	
内 容	【事前学習 eラーニング(標準学習時間：6時間)】 1. 伝熱工学 2. CAE解析 3. 機械学習 【研修：0.5日】 事前学習での疑問点を即答解決します。 1. まとめ説明 2. 業務上の課題解決 3. Q&A	
受講料	¥110,000	

eラーニング	コースコード	OTE002
 <eラーニング>公差設計の基礎 4時間		
	初めて公差設計を学ぶ方へ、公差設計の概要からグローバル図面で必要な幾何公差の最新情報、公差の計算方法等を解説します。各章の演習問題により、理解度を確認できます。	
到達目標	製品の品質向上とコスト低減を実現させる公差設計の考え方と手法を修得できる。	
対象者	・設計・開発・生産技術・製造・検査・品質管理およびその方々を指導される方。 ・初めて公差設計を学ぶ方。 ・品質向上、コストダウン設計を考えている方。 ・図面に課題を持たれている方。	
前提知識	特に必要としません。	
内 容	1. 公差設計の概要 2. 公差設計と幾何公差(GD&T) 3. 正規分布と工程能力指数 4. 統計的取り扱いと公差の計算 5. 公差設計の実践レベル	
受講料	¥33,000	

eラーニング	コースコード	OTE001
 <eラーニング>幾何公差の基礎 6時間		
	グローバルものづくりのためには世界中のどこでも同じ品質の製品を作る必要があります。このためにはグローバル図面が必要であり、そのキー技術が幾何公差です。このeラーニングでは幾何公差の基礎を自由な時間に自分のペースで学ぶことができます。	
到達目標	グローバル図面には欠かせない「幾何公差」について、その考え方と具体的な表記方法を修得できる。	
対象者	グローバル図面に係わる技術者の方。	
前提知識	特に必要としません。	
内 容	1. 幾何公差の基本 2. 幾何公差の図示方法 3. 幾何公差の計測技術	
受講料	¥49,500	

オンライン	コースコード	OTV020
 成熟を打破する顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方 【バーチャル・クラスルーム】 1日間		
	近年の大ヒット製品を事例として紐解きながら、成熟を打破する顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方について、株式会社セキストリーキューブが開発したフレームワークを交えて解説します。	
到達目標	成熟市場から大ヒット製品が産まれてきています。顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方を修得できる。	
対象者	研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者、ならびにシステム、製品の企画・戦略部門の管理者、スタッフの方。	
前提知識	成熟市場に新たな成長領域をつくりだすためには、これまでの製品の概念とアーキテクチャーを大胆に進化させ、既存製品とは異なる顧客価値の創造が必要であり、そのための組織能力をR&D現場に戦略的につくり込む経験があること。	
内 容	1. R&Dへの期待と現場の悩み 2. 成熟を打破したイノベーション事例に学ぶ 3. 成熟を打破する顧客価値の捉え方 4. 成熟を打破するイノベーション構想の描き方 5. 継続的にイノベーションを生み出すR&Dをつくるために 6. 質疑&ディスカッション	
受講料	¥60,500	

オンライン	コースコード	OTV033
 技術の棚卸と組み合わせによるビジネス創生と生成AI活用のポイント 【バーチャル・クラスルーム】 1日間		
	一般的に行われている技術の棚卸がなぜうまくいかないのかを紐解きながら、実践手法をもとに、その効果的な進め方について学習します。	
到達目標	・技術棚卸のコンセプトとフレームワークを理解し、実務で活用できる。 ・新価値構想の思考プロセスとフレームワークを理解し、実務で活用できる。 ・技術棚卸および新価値構想における生成AI、特許情報活用の要点を理解し、実務で活用できる。 ※理論にとどまらない実践的な内容の講義と、事例をもとにした演習を行うことで、受講者が修得した知識を実務に活かせるようサポートします。	
対象者	研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者、戦略部門の管理者、スタッフの方。	
前提知識	技術を開発、または技術を管理したことがあること。	
内 容	1. 企業を取り巻く変化とR&Dの課題 (1) イノベーションの時代 (2) 変化するR&Dのミッションと現場の悩み (3) 技術イノベーション・マネジメントの実践 2. 技術棚卸のコンセプトと実践メソッド (1) 技術マネジメントの難しさ (2) 技術の棚卸の考え方 (3) 技術の棚卸の実践メソッド 3. 技術の組み合わせによる新価値構想の実践 (1) 新価値アイデアの発想 (2) 新価値の構想と検証 4. 生成AIの活用による実践プロセスの高度化 (1) 生成AIの基本 (2) プロンプト設計の基本とコツ (3) 技術棚卸と新価値構想への活用方法 (4) 現場における実践に向けて 5. 技術の棚卸がR&D現場を変える	
受講料	¥60,500	


マシン実習
 マシンを使用しながらの研修

グループ演習
 グループ演習を中心とした研修

レクチャ
 座学による研修

eラーニング
 インターネット接続による自己学習

自習テキスト
 自習書による独習

オンライン	コースコード OTV029
 世界No.1製品を実現するための開発プロジェクト指南 【バーチャル・クラスルーム】 1日間	世界No.1製品を実現するための開発プロジェクト指南 【バーチャル・クラスルーム】
	世界の競合に勝つことを命題とし「先行開発段階をやりきる(設計力)」をテーマに掲げます。ダントツコンセプト実現の(プロセス)、「ダントツ目標の満たすべき要件」、その実現を「阻害する要因の打破」などを取り上げます。ダントツ目標への取り組みは身近にある例、世界一製品の開発例、ダントツスピードの開発例など、さまざまな切り口から事例を紹介します。世界一製品への取り組みに必要な開発設計者のあるべき姿についても取り上げます。
到達目標	「先行開発をやりきる7つの設計力」に関して、自席から学習、演習できる。
対象者	開発設計部門の管理者・マネージャーや、それらのポジションをめざす設計者、世界一の開発設計をめざす方。
前提知識	技術環境がいかに変わろうと、お客さまの(信頼)を得ること、競合メーカーに対し(優位性)を保ち続けることは普遍的に取り組みねばならない課題です。開発設計段階が品質・コストの80%を決めるとの現実を踏まえ、これら普遍的な課題をやりきるにふさわしい(設計力)を備えていること。
内 容	1. 先行開発は「優位性」を実現し、量産設計で「信頼」を達成する 2. 実例を追うダントツコンセプトを実現する先行開発の流れ 3. ダントツ目標が満たす4要件21世紀の新たな日本流ものづくりを考える 4. ダントツコンセプトをめざした取り組み事例 5. 淘汰の時代に生き残る設計者像・10通りの超常識思考技術 6. 超常識思考活用事例の紹介 7. グループ討議 8. まとめと質疑応答
受講料	¥60,500

オンライン	コースコード OTV034	Renewal
 生成AIと特許情報を活用した技術マーケティングの実践メソッド 【バーチャル・クラスルーム】 1日間	生成AIと特許情報を活用した技術マーケティングの実践メソッド 【バーチャル・クラスルーム】	
	イノベーションを生み出す“面”の技術構想を実践するための効果的な進め方について、技術構造化手法をもとに学習します。	
到達目標	・技術マーケティングの目的とコンセプトを理解し、説明できる。 ・技術マーケティングのフレームワークを理解し、実務で活用できる。 ・技術マーケティングにおける生成AI、特許情報活用の要点を理解し、実務で活用できる。 ※理論にとどまらない実践的な内容の講義と、事例をもとにした演習を行うことで、受講者が修得した知識を実務に活かせるようサポートします。	
対象者	研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者、企画・戦略部門の管理者、スタッフの方。	
前提知識	特に必要としません。	
内 容	1. テクノロジーマネジメントと技術マーケティング (1) テクノロジーマネジメントの重要性 (2) 技術マーケティングとは 2. 生成AIの基本 (1) 生成AIとは (2) プロンプト設計の基本とコツ 3. 技術の機能定義 (1) 思考プロセスとフレームワーク (2) 生成AIの活用方法 4. 新たな用途・市場の探索 (1) 思考プロセスとフレームワーク (2) 生成AIの活用方法 (3) 特許情報の活用方法 5. イノベーションの構想 (1) 思考プロセスとフレームワーク (2) 生成AIの活用方法 6. まとめにこえて -イノベーションを産むだす力を高めるために- (1) テクニックではなく、思考プロセスにこだわる (2) 人の知恵を集めるコミュニケーションを促進する (3) イノベーターズマインドを支援する 7. Q&A(全体質疑)	
受講料	¥67,100	

オンライン	コースコード OTV028
 ニーズ・シーズ思考でなく超常識思考ですごいビジョンを実践 【バーチャル・クラスルーム】 1日間	ニーズ・シーズ思考でなく超常識思考ですごいビジョンを実践 【バーチャル・クラスルーム】
	このコースには下記4つの特徴があります。 (1)理論だけでなく実践的なイノベーション手法が学べる。 (2)コンセプトを創造する「4つの創造思考ステップ」のオリジナル性。 (3)理想の姿を追求する「10通りの超常識思考技術」のオリジナル性。 (4)知識、見識、胆識の3つのステップによる複合型研修。 上記特徴により、実践的な創造思考技術を学び、世界一製品のコンセプトづくりを修得できます。受講生課題を含んだ具体的事例の演習・討議を通じて、設計者起点での新事業創生の思考方法を体験できます。
到達目標	設計段階の取り組みが品質・コストの8割を決めるという現実があります。競合メーカーに対して優位性を保つためには、それにふさわしい設計段階の取り組みが必要です。「世界No.1製品」を生み出し、生産するための開発設計プロジェクトの実践方法を伝授します。「競合に勝つ」ことを命題とし、その活動として「世界No.1製品の達成」を4つの特徴を体験できます。さらに、グループワークを通じてコンセプトづくりを修得できます。
対象者	開発設計部門の管理者・マネージャーや、それらのポジションをめざす設計者、開発設計部門を導く経営層など、開発設計を改革して世界一の開発設計をめざす方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 時代の大きな変化を知る 2. 21世紀の新たな日本流ものづくりを考える 3. 事業と価値について 4. 超常識思考を実現する4つの思考ステップ 5. 理想の姿を描く超常識思考技術 6. 超常識思考活用事例の紹介 7. 超常識思考技術による将来ビジョンづくりの演習・討議 8. 超常識思考技術の活用による新事業創出の演習・討議 9. まとめと質疑応答
受講料	¥60,500



マシン実習

マシンを使用しながらの研修



グループ演習

グループ演習を中心とした研修



レクチャ

座学による研修



eラーニング

インターネット接続による自己学習



自習テキスト

自習書による独習

生産・サプライチェーン エンジニアリング

監督者およびその候補者の管理能力向上と人格形成を目的とした研修、生産管理の基礎から最先端のSCM、品質管理・生産技術能力強化のための理論から実務に直結した研修からなるトップ技能者や現場リーダー育成に必要な領域です。

現場管理

レベル1

HSV126	オンライン
報連相のための ビジネスコミュニケーション 基礎	
グループ演習	1日間

PDU

HSV282	オンライン
(PDU) 自分を知り他者を知る コミュニケーションマネジメント -DISCモデルによる-	
グループ演習	2日間

レベル2

HSV268	オンライン
コーチング基礎 -メンバーがコミットする 目標設定編-	
グループ演習	1日間

+

事前学習(eラーニング) 2時間

または

HSJ268	集合
コーチング基礎 -メンバーがコミットする 目標設定編-	
グループ演習	1日間

+

事前学習(eラーニング) 2時間

チームで働く力

レベル3

OTJ041	集合
監督者安全教育(RST)	
グループ演習	3.5日間

ヒューマンエラー対策(OT)

HSD013	集合
ヒューマンエラー対策研修 基礎コース	
レクチャ	1日間

HSD014	集合
ヒューマンエラー対策研修 ヒアリング & 分析コース	
レクチャ	1日間

または

HSD015	集合
ヒューマンエラー対策研修 基礎+ヒアリング & 分析コース	
レクチャ	2日間

※

HSD016	集合
ヒューマンエラー対策研修 仕組みコース	
レクチャ	1日間

HSD017	集合
ヒューマンエラー対策研修 行動コース	
レクチャ	1日間

※HSD015は、HSD013とHSD014の2コースを1セットにして提供するコースです。

IoT

生産管理

レベル1

休 講	
OTJ026	集合
生産管理基礎研修 (生産管理 基礎コース)	
レクチャ	4日間

レベル2

休 講	
OTJ027	集合
SCMとIoT活用による 生産革新マネジメント (生産管理 中級コース)	
レクチャ	4日間

レベル3

OTJ044	集合
最新事例(SCMとIoT)による 次期マネージャー養成 (製造系管理者 上級コース)	
レクチャ	3日間

製造管理

レベル1

OTJ045

集 合

新QC手法研修

グループ演習

3日間

IOJ028

集 合

作業改善のための
治工具・雇の作り方研修

マシン実習

5日間

レベル2

レベル3

音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

集合		コースコード	OTJ041
	監督者安全教育 (RST)		
3.5日間			
労働安全衛生法第六十条に基づき、新たに職務につくことになった全ての職長および直接指導（現地で直接作業を指導監督する者も含む）する者に対する安全衛生教育が定められています。関連会社も含めて各事業所では新任者の人数等の関係から実施が困難な場合が考えられ、（日立アカデミー）にて一括して教育を実施しています。 ※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。			
到達目標	労働安全衛生法第六十条に基づき、新たに職務につくことになった全ての職長および直接指導（現地で直接作業を指導監督する者も含む）する者に対する安全衛生教育が定められています。労働省安全教育認定のトレーナーのいる事業所では安全衛生教育を実施しているところもありますが、関連会社も含めて各事業所では新任者の人数等の関係から実施が困難な場合があり、（日立アカデミー）にて一括して教育を実施しています。（したがって各事業所では洩れのないように安全衛生教育を受講願います。）		
対象者	労働省方式現場監督安全衛生教育で、労働省認定のトレーナーによる安全衛生教育を受けていない監督者の方。		
前提知識	監督者としての管理・指導経験があること。		
内 容	1. 監督者安全教育 (RST) への導入 2. 遵法人 3. 組長の役割 4. 指導・教育の進め方 5. 監督・指示の方法 6. 適正配置 7. 設備の改善 8. 環境改善の方法と環境条件の保持 9. 整理整頓と安全衛生点検 10. 作業手順の定め方 11. 作業方法の改善 12. 異常時における措置 13. 災害発生時における措置 14. リスクアセスメント 15. 労働災害防止と関心の保持および創意工夫を引き出す方法 16. 日立の安全衛生管理方針等 17. グループ討議		
受講料	¥214,500		

集合		コースコード	OTJ044
	最新事例 (SCMとIoT) による 次期マネージャー養成 (製造系管理者 上級コース)		
	3日間		
変革時代の生産管理に必要な最先端のサプライチェーンシステム、現場情報のデジタル化、IoTの現状・将来方向について具体的に学んでいただきます。また、自らの改革事例の発表では受講生・講師間の積極的な討議参画によって業務改革の高度化や工場経営に必要な全体を俯瞰する能力を一層高めることができます。生産システム部会／生産統括教育分科会の企画により実施するものです。			
到達目標	グローバル連携、生産・調達システム、工場DXと いった内外の生産マネジメントに関する最新情報を 網羅しています。SCMをグローバルに捉え、あるべ き姿を再認識し、事業経営に寄与する思考・行動を 身につけていただきます。		
対象者	自社の生産管理を理解し、社内外との調整や業務改 革を実践している方。SCM全体のオペレーションを デジタル化により高度化する知識・スキルを向上し たい方。部門は問いません。		
前提知識	生産・サプライチェーンに関する基礎知識がある こと。		
内 容	1. 在庫と事業経営 2. グローバル連携強化 3. IoT活用による新生産管理 4. SCM/ECMの高度化 5. 自職場改革事例 6. 生産現場のIoT改革事例 7. 事業所見学(ハイテク/マリン)		
受講料	¥183,700		

集合		コースコード	OTJ026	休 講
	4日間	生産管理基礎研修 (生産管理 基礎コース)		
		生産の仕組みや管理に関する基礎知識と一連の流れを修得していただきます。部門は問いません。日立グループの方は本研修の修了一年後にフォローアップ研修を受講していただくこともできます。		
到達目標				
生産管理の基本と実践的管理手法が修得できます。ミニケーススタディによりコミュニケーション力も高まります。現状の業務に凝り固まっている方には、周辺知識の修得で業務改善のヒントが見つかるかもしれません。また、受講生の相互コミュニケーションを重視したミニケーススタディにより、コミュニケーション力の向上と視野の広い人材育成をめざします。生産システム部会／生産統括教育分科会の企画により実施するものです。				
対象者				
生産に係わる仕組みの基礎を学びたい方。現状業務の専門知識はあるが周辺知識を学びたい方。営業、技術、生産管理、製造、設計、資材、経理、情報システム等、部門は問いません。				
前提知識				
特に必要としません。				
内 容		1. コミュニケーションの基本 2. 生産管理概論(用語解説) 3. ミニケーススタディ(1) 4. 生産管理者の役割 5. 資材管理 6. 生産計画手法(非量産事例) 7. JIT生産手法 8. 資金と棚卸残高 9. 生産計画手法(量産事例) 10. ミニケーススタディ(2) 11. 個人発表 12. 事業所見学(鉄道/水戸) 13. 幹部講話		
受講料		¥217,800		

集 合		コースコード	OTJ045
 グループ演習	新QC手法研修		
	3日間		
言葉の情報処理の仕方や新QC手法を通じて、問題解決のための効果的グループ討議の進め方とリードの仕方を修得していただきます。 ※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。			
到達目標	言葉の情報処理の仕方や新QC手法を通じて、問題解決のための効果的グループ討議の進め方とリードの仕方を修得していただきます。		
対象者	グループリーダーとしての育成を図り、活躍を期待できる方。		
前提知識	QCサークルに参画したことがあること。		
内 容	1. N7(新QC手法)とは 2. 言葉の意味論 3. 親和図法講義 4. 連関図法講義 5. 系統図法(マトリックス図法) 講義 6. 各図法について、グループ討議 7. 事例報告(QCサークル報告会参加事業所) 8. グループ討議発表会		
受講料	¥183,700		

集合		コースコード	OTJ027	休 講
	4日間	SCMとIoT活用による 生産革新マネジメント (生産管理 中級コース)		
		社内外の生産改革事例やSCMに関する各種管理手法の修得いただきます。IoT活用による生産管理の高度化や変化に対応できる幅広い知識、考え方を身につけていただきます。		
到達目標				
全体最適化を図るため、需要予測から調達、生産、出荷まで、最新サプライチェーンの実態やシステム、IoTの現状を学んでいただきます。社内外の生産改革事例や各種管理手法の修得により、生産管理の高度化や変化に対応できる幅広い知識、考え方を身につけていただきます。さらにケーススタディで業務上の問題点について受講生相互のコミュニケーションを十分に図り、論理的な問題解決(思考/実行)能力を向上させることができます。生産システム部会／生産統括教育分科会の企画により実施するものです。				
対象者				
生産管理の仕組みを広く理解し、顧客・他部門との調整や業務改革に取組みたいと考えている方で、部門は問いません。				
前提知識				
生産管理に関する基礎知識があること。				
内 容				
1. キャッシュフロー経営 2. SCM改革と他社事例 3. 生産スケジューリング 4. SCM改革の実際 5. IoT活用モノづくりの動向および適用事例 6. 事業所見学(Astemo/佐和) 7. ケーススタディ 8. 新会社設立の取り組み 9. 発表会 10. 幹部講話				
受講料				
¥193,600				

集 合		コースコード	IOJ028
 マシン実習 5日間	作業改善のための 治具・雇の作り方研修		
	現場改善の早期実現をはかるために図面情報処理能力の向上をはかり、治具雇の機能上のポイントを実技、実習を通して体得し、図面が読めて書ける人材、治具・雇が発案でき具体化できる現場マンを養成します。治具・雇の作り方、図面の書き方、実技演習ではビデオ観察による治具・雇の発案実習を実施します。 ※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。		
	到達目標 現場改善の早期実現をはかるために作業改善に携わる人の図面情報処理能力の向上をはかり、治具雇を作る際にもっとも陥路となっている治具雇の機能上のポイントと簡略図面の作り方を実技、実習を通して体得いただきます。		
	対象者 生産指導員、組長、指導技能員、現場技術員の方。		
	前提知識 図面の簡単な知識があること。		
	内 容 1. 治具・雇のつくり方の基本 2. 図面の書き方基本 3. 治具・雇の製作図演習 4. 治具・雇事例説明(工場見学) 5. 穴あけ治具製作図演習 6. 課題演習発案発表会		
	受講料 ￥330,000		



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



自習テキスト
自習書による独習

モノづくり体験

自動化システム

生産設備・プロセス

11

IoT・AI技術

レベル1

レベル2

レベル3

New

OTV035 オンライン

デジタル新時代に対応した
IoT×AIの概要と
その利用技術

グループ演習 | 2日間

集合	コースコード OTJ046
	1度は経験！溶接日帰り体験
1日間	
溶接を1度は体験してみませんか？皆さんが会社で手がける製品やサービス、使用している設備、通勤に使用している乗り物など、溶接はさまざまなところで使用されていますが、実際に溶接を体験したことが有る方は殆どいらっしゃらないかと思います。「身近」なのに「身近じゃない」技術ですが、これからの会社生活で、実際に溶接を体験しておく事は、あなたの「財産」になります、日立キャンパスでは、工場の第一線で活躍してきたプロの講師が安全に本物の溶接を指導し、体験出来る機会を用意しております。	
到達目標	溶接を体験する事により、モノづくりへの理解を深める。
対象者	溶接を体験してみたい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. MAG溶接練習 2. 被覆アーク溶接練習 3. MAG溶接での容器作成・性能試験
受講料	¥61,600

集合	コースコード OTJ047
	今こそ体験！1日 機械加工体験
1日間	
工作機械の種類や加工方法を学び、その後、実際の機械(旋盤、フライス盤、ボール盤、マシニングセンタ)の動作および操作を見学・体験します。さらに穴明け、タップ加工、ダイス加工を体験し、実際に締められるネジ加工を体験します。	
到達目標	工作機械の種類、動作を体験し、どのような機械がどのような加工を行えるかを体験する。
対象者	どなたでも受講可能です。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 工作機械についての学習 2. 旋盤加工体験 3. フライス盤加工体験 4. ボール盤加工体験 5. マシニングセンタ動作見学 6. タップ加工体験 7. ダイス加工体験
受講料	¥61,600

集合	コースコード OTJ048
	製造・生産技術者のための自動機製作総合講座
5日間	
生産技術者として必須の電気制御に関する基礎的部分をまとめて効果的に学習することができます。自動機製作総合実習では、チーム別に創造力を働かせて自動機に見立てた作品を考案、配線、動作させることによってシーケンス制御の全貌を理解しながらモノづくりの喜び、達成感を味わうことができます。※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。	
到達目標	自動化設備一般を扱う人が知っておくべき制御と電気に関する基本的な事項(電気と安全、テストの使い方、シーケンス制御のしくみ、プログラマブルコントローラ(PLC)の機能など)を、初心者にもわかりやすく基礎から体験し、楽しみながら修得できます。
対象者	生産技術部門の新人や自動機械のオペレータ、製造職場で設備保全業務全般に携わる技能者の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 電気回路の基礎 2. リレー回路の基礎 3. PLCの機能と使い方 4. シーケンス回路設計入門 5. 自動機製作総合実習 6. 発表会
受講料	¥305,800

集合	コースコード OTJ049
	今こそ体験！NCプログラミング体験
2日間	
マシニングセンタのNCプログラミングを基礎から学べます。NCプログラムの考え方や仕組み、コードを学習し、演習課題のプログラムを作成し、シミュレーターで確認します。このコースで作成した、NCプログラムの実加工は、「今こそ体験！1日 NC マシニングセンタ加工体験」コースにて実施します。	
到達目標	NCプログラムの基礎を学び、シミュレーターの操作方法も含め修得する。
対象者	どなたでも受講可能です。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. NCプログラムの基礎 2. 加工設備の見学 3. プログラム作成演習 4. シミュレーターの操作方法演習 5. 課題加工プログラムの作成
受講料	¥101,200

集合	コースコード OTJ050
	今こそ体験！1日 NCマシニングセンタ加工体験
1日間	
「今こそ体験！NC プログラミング体験」コースで作成したプログラムを使用し、実機マシニングセンタにて実加工を実施します。	
到達目標	マシニングセンタでの実加工を体験し、作成したプログラムの実動作を体験できる。
対象者	「今こそ体験！NC プログラミング体験」コースを受講済みの方。
前提知識	「今こそ体験！NC プログラミング体験」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. マシニングセンタ操作説明 2. 実機を使用した課題プログラムの動作確認 3. 作成プログラムでの実加工 4. 寸法確認 5. 改善点、要修正点の確認・指導
受講料	¥61,600

集合	コースコード OTJ051
	産業用ロボット特別安全教育(教示)
1.5日間	
産業用ロボットの教示・検査等に係る業務に従事する労働者全員に対して、労働安全衛生法第59条第3項に基づき特別教育を行うことが法令で義務付けされているロボット特別安全教育を実施します。法令に沿った学科教育と実習を実施しますが、実習に関しては外部主催の同教育と比較し多めに設定しておりますのでロボット初心者の方にも安心して受講いただけます。	
到達目標	ロボット操作時に必要な知識を修得できる(合格者には修了証を発行します)。
対象者	産業用ロボットの教示・検査等に係る業務に従事する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 産業用ロボットに関する知識 2. 関係法令 3. 産業用ロボットの教示等の作業に関する知識 4. 産業用ロボットの操作方法について 5. 産業用ロボットの教示等の作業方法
受講料	¥64,900



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



自習テキスト
自習書による独習

集合	コースコード OTJ052
	産業用ロボットの教示と基本操作習得
3日間	
法令で義務付けられている、産業用ロボットの特別安全教育（教示）の受講に加え、基本的なロボットの操作方法を、実習をメインに修得できます。	
到達目標	産業用ロボットの特別安全教育（教示）の受講修了証の発行と共に、基本的なロボットの操作方法を修得する。
対象者	ロボットをこれから使用・監視・導入しようとする部門の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 産業用ロボットに関する知識 産業用ロボットの種類 2. 各部の機能および取扱いの方法 3. 産業用ロボットの教示等の作業に関する知識 4. 教示等の作業の方法 5. 関係法令 6. 産業用ロボットの操作の方法 7. 産業用ロボットの教示等の作業の方法 8. メーカ、ロボット形状による操作方法の違いの体験実習 9. 外部機器との接続体験実習
受講料	¥184,800

集合	コースコード OTJ053
	リレーシーケンスの基礎とトラブル診断
2日間	
電気の基礎、シーケンス制御、リレー回路、テストの使い方、トラブル診断の基礎を学びます。さらに、学んだ基礎知識を使ってトラブルシューティングを実習で体験する2日間の研修となっています。	
到達目標	電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につける。
対象者	新人・若手の技術者・技能者、電気の初學者、初めて電気機器、自動機を扱う方、営業職の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 自動制御の概要 2. 電気の基礎と安全 3. シーケンス制御回路の基礎 4. トラブルシューティング基礎
受講料	¥123,200

集合	コースコード OTJ054
	リレーシーケンスの基礎とPLC入門
3日間	
電気の基礎と安全・シーケンス制御・リレー回路・テストの使い方・配線とトラブル診断・PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できるように実習します。	
到達目標	電気の基礎と安全/シーケンス制御/リレー回路/テストの使い方/配線とトラブル診断/PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できる。
対象者	・自動機・電気機器に関わる部署の新人、設備の保守改善業務に従事する方。 ・プログラマブルコントローラ（PLC）の操作や活用のための知識を必要とする初心者の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. 制御と電気と安全 2. 電気回路の基礎 3. リレー回路の配線 4. PLCの構成と配線 5. PLCの基本操作 6. 基本回路要素の動き 7. プログラミング演習
受講料	¥184,800

集合	コースコード OTJ055
	シーケンスコントローラ活用入門
5日間	
PLCの組み込まれた自動化設備などの操作やPM・設備改善等に携わる実務者向け入門研修です。生産設備をはじめ、試験装置や実験設備などの制御に使用されるPLCの概要を実機を用いて基礎から修得できます。（実習は日立と三菱のPLCから選択可、それ以外のPLCでも基本的な機能は共通） ※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。	
到達目標	PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できる実習です。
対象者	プログラマブルコントローラ（PLC）の操作や活用のための知識を必要とする初心者の方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. シーケンス制御の基礎 2. PLCの構成と配線 3. PLCの基本操作 4. 基本回路要素の動き 5. プログラミング演習 6. 課題実習 7. 発表会
受講料	¥305,800

集合	コースコード OTJ056
	トラブルシューティング（制御系基礎）
5日間	
自動化設備を扱う人が知っておくべき基本的な事項（電気と安全、テストの使い方、シーケンス制御のしくみ、トラブル診断と修理・調整の方法など）を、実際に回路を組み立てながら分かりやすく学習します。実機を使用した故障診断修理実習等を通じ、実際の設備トラブルへの対応力を身につけます。 ※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。	
到達目標	電気関係のトラブルに対応できる基礎知識と診断方法を実際に体験しながら修得します。
対象者	・自動機械設備・セル生産ツール・JIT生産設備等の運転・保守改善に携わる方。 ・ソフトウェアやシステム開発および品質保証関連業務の新人で電気制御の基本を実機レベルで実習したい方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. シーケンス制御の基礎 2. リレーシーケンス入門 3. トラブルシューティング基礎 4. 制御盤配線実習 5. 故障診断修理実習 6. 机上でのいろいろなトラブルシューティング
受講料	¥305,800

集合	コースコード OTJ057
	PLCプログラミング応用
5日間	
あらゆる種類と規模の制御対象に対し、誤動作しない信頼性と完成度の高いPLCプログラムを作成する手法と考え方について、実習を通じ分かりやすく修得します。トリッキーで難解な回路になることを避けられる、PLCのメーカや機種に依存しない、誰にも分かりやすいシーケンス回路の構築法について解説・実習します。実習用アクチュエータセット等を使用し、起こりがちな不具合点の確認やあるべき機能の追加なども体験します。 ※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。	
到達目標	誤動作せずに思い通りの動作を実現する信頼性の高いシーケンス回路構成法を、実習を通じて体系的に修得します。
対象者	自動化設備等の開発・保守・改善を行おうとする方で、プログラマブルコントローラ（PLC）の基本的なプログラミングを理解・経験している方。
前提知識	PLCの機能全般についての理解があること。もし、PLCの機能全般についての理解が十分でない場合、事前に「シーケンスコントローラ活用入門」コースの受講をお勧めします。
内 容	1. PLC基礎テスト 2. PLCプログラミング 3. 歩進回路と出力回路の作り方 4. 選択と反復への対応と演習 5. 複雑な制御仕様の表現方法 6. 条件回路の構成法 7. 総合実習 8. 発表会
受講料	¥305,800



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



自習テキスト
自習書による独習

集合	コースコード OTJ058
 マシン実習	設備稼働率向上研修（初級）（TPM入門）
4.5日間	
- 稼働率向上の第一歩は「清掃は点検なり」を全員に習慣化させることから始まります。設備機械の6大系統の点検方法と修理・改善について体系的に学習し、実践によって体得できます。 - メカニズム系統の実習を中心に、誰にでもできる設備の点検法を学ぶことができます。 - 実習で使用する、保護眼鏡、作業帽子、安全靴は研修所で貸し出しますが、職場で使用している物を持参・使用しても結構です。 ※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。	
到達目標	- 稼働率向上の第一歩は「清掃は点検なり」を全員に習慣化させることから始まります。設備機械の6大系統の点検方法と修理・改善について体系的に学習し、実践によって体得できます。また、TPM先進事業所の実務担当者の講義により、具体的な展開と問題の解決法を学ぶことができます。 - メカニズム系統の実習を中心に、誰にでもできる設備の点検法を学ぶことができます。
対象者	製造設備を使用している全技能者でTPM活動についてグループの中核となる方。
前提知識	自職場内設備点検内容、点検状況等現状の把握を行う方。
内 容	1. TPMの基礎と社内外の実例 2. 清掃点検のポイント 3. チョコ停ゼロの進め方 4. 故障ゼロの進め方 5. 潤滑、油圧、電装系統の点検 6. 締結、駆動、伝達系統の点検 7. 空圧機器
受講料	¥272,800

集合	コースコード OTJ059
 マシン実習	設備稼働率向上研修（中級：故障予知編）
3.5日間	
故障予知による設備機械の稼働率向上を図るため、各種診断機器を用いて振動診断を中心に原因追求とメンテナンスを実習できます。 ※必要に応じてご自身で宿泊場所の予約をお願いいたします。	
到達目標	- 振動を利用した簡易診断手法、および精密診断手法を修得できる。 - 油分析キットを利用し、油分析による診断技術を修得できる。
対象者	設備診断を担当される方。TPMグループリーダー、または「設備稼働率向上（初級）」コースを受講した方。
前提知識	自職場内設備の点検内容、点検状況等現状および問題点を把握していること。
内 容	1. 設備診断入門 2. 故障予知のための診断機器と活用法 3. 潤滑油、作動油の設備診断実習 4. 設備診断装置による故障予知実習（簡易診断、精密診断） 5. TPMにおける保全活動 6. 設備稼働率向上のための設備管理システム
受講料	¥196,900

オンライン	コースコード OTV035	New
 グループ演習	デジタル新時代に対応したIoT×AIの概要とその利用技術【バーチャル・クラスルーム】	
2日間		
空前のIoT (Internet of Things：モノのインターネット)ブームに取り残されないよう、基礎を一から学習します。 データ取得・蓄積から分析、フィードバックと流れに沿って学習し、特にIoT (+AI) を利用する技術について失敗事例も含め学ぶことができます。講師には、IoT×AI事業を行っているベンチャー企業の方をお迎えしていますので、実践的な講義内容で学ぶことができ、ワークショップによる気付きも得られる研修となっています。		
到達目標	- 空前のIoTブームに取り残されないよう、基礎を一から学習します。 - データ取得・蓄積から分析、フィードバックと流れに沿って学習し、特にIoT (+AI) をモノづくりの観点での利用技術について学ぶことができます。	
対象者	IoT (+AI) を利用する技術について、モノづくりの観点で学びたい若手技術者。	
前提知識	特に必要としません。	
内 容	1. IoT利用技術事例 2. IoT×AIの概要とその利用技術 (1) IoT概論 (2) IoTシステムの構成 (3) データの取得と蓄積 (4) データ処理・データ分析 (5) フィードバックとIoT活用事例 (6) 演習【グループ単位】	
受講料	¥128,700	



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



自習テキスト
自習書による独習

各種研修サービスに関するお問い合わせ

東京

TEL : 03-5471-8962 FAX : 03-5471-2564

大阪

TEL : 06-4797-7360 FAX : 06-4797-7361

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>